

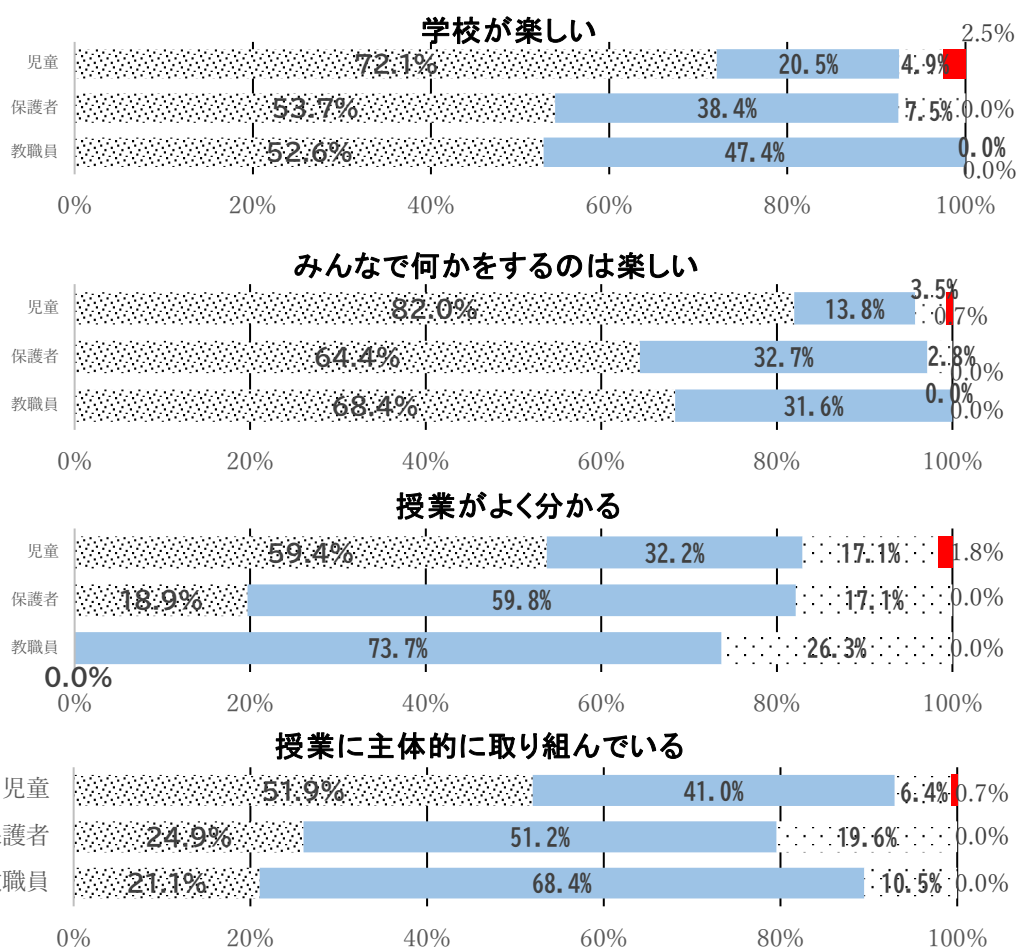
み お つ く し (漣標)

漣標：みおつくしとは・港湾に立てられた船の航路を指し示す道しるべのこと。
子どもたちの生き方の方向性を指し示すことにつながっています。

本校では、「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業がよく分かる」「授業に主体的に取り組んでいる」の4つの観点で、「魅力ある学校づくり」をめざし、「そう思う」と回答する児童・保護者・教師の割合に注目し、教育活動に行っています。

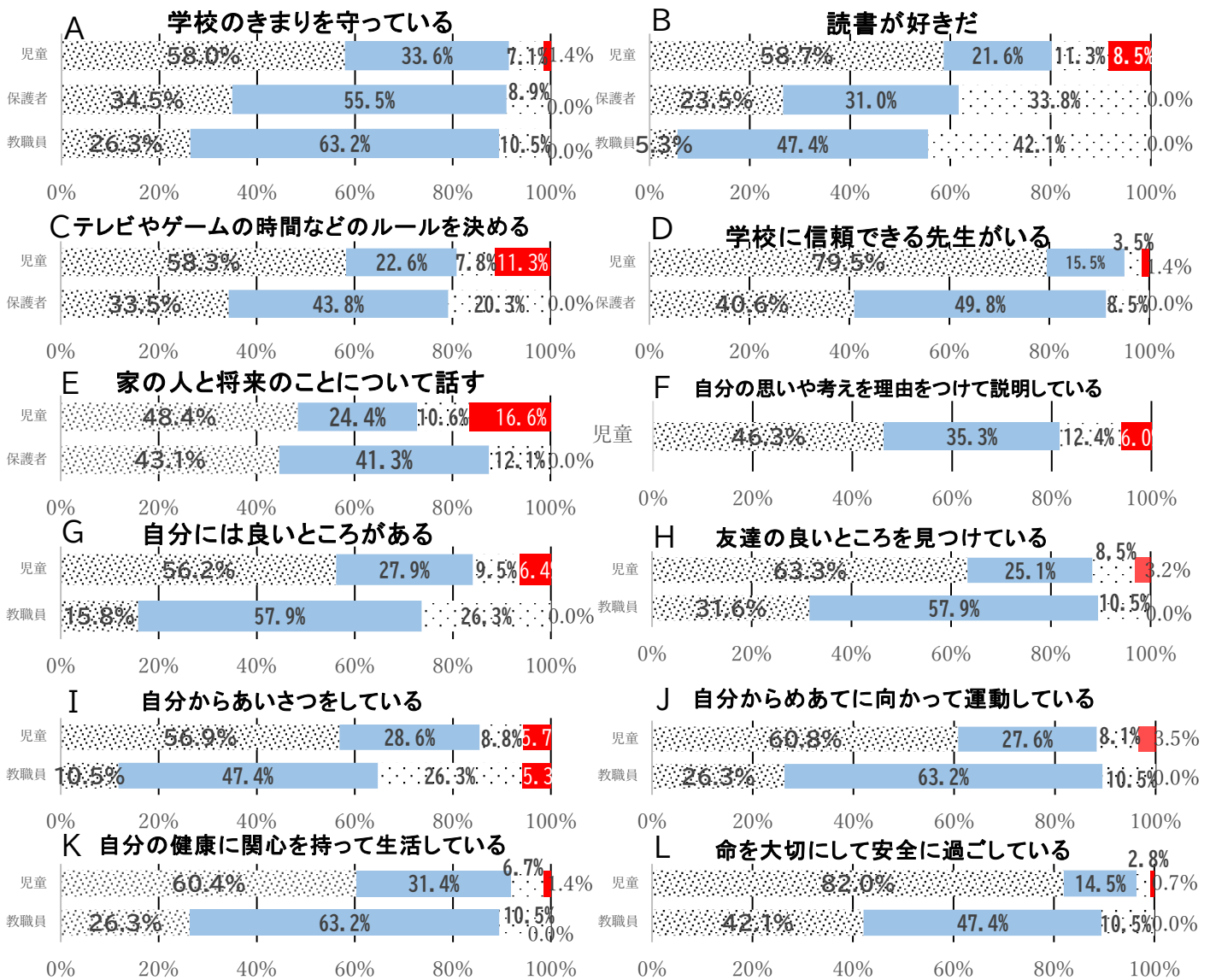
7月に行った学校評価アンケートも「魅力ある学校づくり」を元にまとめました。アンケートを参考に、今後の教育活動に活かしていきます。御協力ありがとうございました。

1 「魅力ある学校づくり」について



- 「学校が楽しい」、「みんなで何かをするのは楽しい」では、7割以上の児童が「そう思う(最上位)」と回答し、多くの児童が、学校生活に期待をもっていると考えられる。
- 「授業がよく分かる」では、約6割の児童が「そう思う(最上位)」と回答しているが、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の回答が約2割おり、より一層、「どの子にも分かる授業」を実践していく。
- 「授業がよく分かる」、「授業に主体的に取り組んでいる」では、「そう思う(最上位)」と回答する保護者・教職員は3割未満であり、わが子や児童が授業理解や主体的に取り組む自信をもって「そう思う」と感じている保護者・教職員が少ない。
- 「授業がよく分かる」について、教職員は、学習指導要領の内容の定着に難しさを感じていると考えられる。

2 その他のアンケート項目について



- ・ 「学校の決まりを守っている」では、児童と保護者、教職員の肯定率（「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」）が9割程度と高く、全体でより良くしようとする意識がみられる。
- ・ 「テレビやゲームの時間などのルールを決めている」では、児童と保護者の肯定率が8割と高い。（令和元年度以降の中で、一番高い割合となっている。）
- ・ 「信頼できる先生がいる」では、「当てはまる（最上位）」と回答する児童の割合が高い。
- ・ 「友達の良いところを見つけている」と「自分からめあてに向かって運動している」、「自分の健康に関心を持って生活している」では、児童と教職員の肯定率が約9割と高い。

3 今後の取組について

◆ 「授業がよく分かる」「授業に主体的に取り組んでいる」の割合の向上を目指す。

→ 自分の考えや意見を述べる授業だけでなく、これまで以上に、基礎基本の定着を目指した分かる授業を実践していく。また、低学年からの計算カード等の繰り返しの練習や漢字習得のための工夫、タブレットを用いた学習(テーマ)等、学校及び家庭において基礎基本の定着を目指した指導や家庭学習を行っていく。

そして、「学校が楽しい」だけではなく、「学びが楽しいと思える授業」を目指し、「授業がよく分かる」と回答できるように授業を工夫していく。